

# リリース ノート

製品 : **DocAve® 5.2.0.0**

リリース日 : 2009 年 5 月 11 日

\* 日本語版は 5.2.1.0 と同時リリース

**パッケージ一覧** : パッチ パッケージ (マネージャーとエージェント含む) ;  
デモ パッケージ (マネージャーとエージェント含む)

## 新機能

### レポート センター

- ・ **インフラストラクチャ レポート**

DocAve SharePoint 管理のレポート機能と統合されたインフラストラクチャ レポートでは、データ及びストレージの使用傾向、そして相違点レポートを含めたお使いの SharePoint インフラの詳細な分析をグラフィカル且つリアルタイムに表示します。

- ・ **使用状況分析**

DocAve コンプライアンス監査機能と統合されたレポート センターの機能では、SharePoint 導入環境の使用状況及びユーザーの利用状況に関する分析結果をグラフィカルに表示します。これにより、最もアクティブな投稿者を把握したり、ページの使用状況平均、そしてユーザー毎のストレージ使用量の傾向を確認することが出来ます。

- ・ **リアルタイムのインフラ モニター**

お使いの SharePoint サーバーの CPU 及びメモリー、サービス及びトポロジー、インデックス状況の更新、そしてクリティカルな SharePoint の情報を監視することが出来ます。本機能は追加ライセンス無しで無料 (旧ディスクバリー) で提供されます。ご使用の際は、レポート マネージャーとレポート エージェントのタイプを有効にする必要があります。

- ・ **DocAve モニター**

DocAve モニターをお使い頂くと、DocAve サーバー及びサービスのレポートまたはダッシュボードでの監視、バックアップストレージに指定したディスクの使用量に関する通知、そして Sharepoint 移行の使用状況監視の機能をご利用頂けます。本機能も無料で提供している為、追加のライセンスは必要ありません。

- ・ **SharePoint Web パーツ**

DocAve のレポート センターでは、カスタムの SharePoint サイト コレクションから直接ダッシュボードを表示することが出来ます。レポート センターをインストールすると、SharePoint から直接 DocAve レポート センターのサイト コレクション テンプレートを使用してサイト コレクションを作成することが出来ます。

## データ保護

- ・ **サイト用ごみ箱 - サイト及びサイト コレクションのバックアップ ソリューション**

サイト用ごみ箱では、SharePoint 上でサイト及びサイト コレクションを削除する直前にバックアップが実行されます。DocAve の単一リストア ツリーからファームの必要なコンテンツを選択し、削除する直前の状態までリストア出来ます。

- ・ **重要性マトリックスのツリー プレビュー**

重要性マトリックスのレポート機能が強化され、お使いのファーム用マトリックスのサイトの詳細の範囲が表示されるようになりました。

- ・ **サイト コレクション管理者の為のエンド ユーザー リストア**

最小単位バックアップ モジュールを使用してエンド ユーザー Web パーツをサイト コレクションに展開することで、サイトコレクション管理者が毎日のコンテンツ リストアのタスクを SharePoint から直接実行できます。

- ・ **詳細な上書きオプション**

最小単位バックアップでは、カスタム メタデータに基づいたリスト アイテムの上書きを設定出来る様になりました。これにより、どのコンテンツを重複して作成するかを詳細にカスタマイズすることが出来ます。また、更新日時に基づいた上書きも設定出来る為、いつでも最初のバージョンを SharePoint へ読み込んでおくことが可能になります。

- ・ **フロントエンド リストアの比較**

リストア コントローラの新機能では、お使いの既存環境と、プラットフォーム レベル バックアップのデータを基にフロント エンド データを比較出来ます。これにより、リストア前に予めリストア後の変更点を確認することが出来ます。

- ・ **IBM TDP バックアップからのリストア**

SQL バックアップ モジュールからの最小単位リストアの堅牢な機能に加え、TDP バックアップからのリストアもサポートします。

## 管理

- ・ **アイテム レベルでのセキュリティ 検索**

新しい DocAve の” オフライン検索” モードをお使い頂くことで、アイテム及びドキュメントを検索して権限をより効果的に管理出来ます。これにより、コンテンツ タイプを基に検索出来ます。

- ・ **削除済み AD アカウントの整理機能の強化**

権限の転送をリストア及びライブラリ レベルで一括でご使用頂けます。削除済みアカウントの機能でのお知らせ及びカスタム メタデータをすべて保持した権限の転送もサポートされます。つまり、この機能により、DocAve の SharePoint 管理画面から、直接新規アカウントに対してユーザー関連のデータをすべて転送出来るようになります。

## コンプライアンス

- ・ **GEO 監査サポート**

強化されたコンプライアンス監査では、アクション、ユーザー、そしてその他のオプション等、詳細な検索条件を登録済みの SharePoint ファーム全体の監査データに対して指定することが出来ます。

- ・ **監査レポートのスケジュール**

監査レポートをスケジュールし、自動的に電子メールで通知することで、SharePoint のクリティカルなデータをすべてリアルタイムに追跡出来るようになります。

- ・ **リスト アイテム表示の監査**

SharePoint のネイティブ機能を拡張し、リスト アイテムの表示記録を取得することで、SharePoint の監査機能ではアイテム レベルで表示されたコンテンツをキャプチャ出来るようになりました。

- ・ **eDiscovery モジュール**

DocAve では、ライブの SharePoint データで (SharePoint の検索インデックスを活用) コンプライアンス関連の情報の検索をサポートします。さらに、すべてのメタデータを保持した状態で検索結果をエクスポートすることが出来ます。

- ・ **証拠保全**

eDiscovery 機能及びコンプライアンス Vault 機能を使用してアイテムを保持することで、ブルーニング ポリシー及び SharePoint の編集から免除することが出来ます。これにより、コンプライアンス Vault 内で対象となる不変なコピーを自動的に保持することが出来ます。

## 移行

- ・ **LiveLink 移行**

新しい DocAve では、OpenText の LiveLink システム（9.5 バージョン以上）から SharePoint 2007 への移行をサポートします。本移行ツールのトライアル版をご使用頂いた上、企業のニーズに合わせた移行を通してフィードバックをご提供いただけます。本機能では RFI を受け付けています。

- ・ **エンドユーザーのファイルシステム移行ジョブ - 無料ツール**

移行パッケージをご購入頂き、お使いのプラットフォームで有効にして頂くと、エンドユーザーのファイルシステム移行がご利用頂けます。本機能はライセンスの有効期間中無料でご利用頂けます。

- ・ **プレスキャン ツール**

移行元コンテンツを分析し SharePoint でリジェクトの対象となるドメイン間でマッピングの完了していないユーザー、権限、コンテンツ タイプ、そして不正文字をレポートする機能を搭載したプレスキャン ツールを加えた SharePoint 移行ツールでは、レガシー システムから SharePoint へのコンテンツの展開を効果的なものにします。

- ・ **テスト実行**

旧バージョンからの移行の際、テストを実行することで、すべてのコンテンツが予定通りに移行されるかどうかを確認することが出来ます。

## 全般

- ・ **セキュリティの強化**

暗号化及びセキュリティ ポリシーの適用されたデータをすべて 192 ビットの暗号化でサポートします。また、アカウント管理の機能も強化され、ユーザー、パスワード強度の監視、有効期限ポリシー、そして複数 Active Directory 接続を含めた堅牢なセキュリティ ルールが追加されました。

- ・ **階層ストレージ**

拡張アーカイバまたはデータ保護モジュールに書き込まれたデータがプルーニング ポリシーにより削除される前に移動される階層ストレージによりサポートされる様になりました。これにより、保持ポリシーをカスタマイズすることが出来ます。

- ・ **SharePoint Service Pack2 (SP2) サポート**

DocAve では、最新の MOSS 及び WSS 対応のサービス パックがサポートされる様になりました。現在 v5.2 以前の DocAve を使用してプラットフォーム レベル バックアップ（または v4.5 プラットフォーム上でのプラットフォーム リカバリー）を実行した場合、SSP の上書き機能のみがサポートされていません。上書きのリストアを実行する際には、コンテンツまたは設定をリストアする前に SSP を手動で削除する必要がありますが、この作業は DocAve 5.2 では必要ありません。

## バグ修正

特定のバグ、及び顧客用の問題については、AvePoint 技術サポートまでお問い合わせください。

## **既知の問題**

### **データ保護**

- ・ **エンドユーザー リストア Web パーツ**

エンドユーザー リストア Web パーツはサイト コレクション管理者にのみ制限され、パスワード保護データには統合されません。

- ・ **カスタム サイドリンク バー**

現時点ではカスタマイズされたサイドリンク バーの最小単位バックアップに不具合があります。お気付きの点は、AvePoint 技術サポートまでお問い合わせください。

### **移行**

- ・ **ライブ移行制限 (SharePoint 2003 - 2007 移行)**

SharePoint 2003 から 2007 への移行の際、個人用リンク及びポータル エリアのライブモード移行がサポートされませんので、通常のプラン モードを使用してこれらを移行する必要があります。ライブ モードはリストア及びライブラリを移行先へ迅速に移行する際の使用を推奨します。

- ・ **64 ビット環境での個人用サイトの移行 (SharePoint 2003 - 2007 移行)**

64 Windows Server 2008 環境 (SQL 2008 インストール済み) での個人用サイトの移行に不具合があります。

### **管理**

- ・ **レプリケーターでの Web パーツ サポート (英語版のみ)**

次のテンプレートに含まれる Web パーツ内の画像移行に不具合があります。: Employee Activities Site; Employee Self-Service Benefits; Employee Training Scheduling, and Materials; Equity Research; and New Store Opening

### **コンプライアンス**

- ・ **eDiscovery 検索制限**

DocAve eDiscovery 検索は通常の SharePoint 検索と同様の制限 (サイズ制限、ファイル タイプ制限等) があります。詳細については、MSDN または DocAve ユーザー ガイドを参照してください。また、500 以上のサイトを含むサイト コレクションの検索結果に関する問題も報告されています。

### **レポート センター**

- ・ **SharePoint トポロジー及びサービス内の WSS v3 サポート**

WSS v3 環境（特にトポロジー及びサービス機能）での DocAve リアルタイム モニター機能に関する不具合が報告されています。その他のレポートに関しては報告はありません。

## 全般

- ・ **v5.2 への更新後のログイン不可**

DocAve 5 の旧バージョンから DocAve 5.2 への更新パッチ適用後、一部のユーザーでログイン不可の状態であるとの報告があります。問題を解決するには、ウェブ ブラウザのインターネット オプションへ移動してインターネット一時ファイルをすべて削除してください。

- ・ **ローカライズ - 日本語版**

DocAve 5.2 では GUI の日本語版をサポートしていない為、多くの部分が英語で表示されます。完全ローカライズ版は 6 月の 5.2.1.0 でリリースされます。